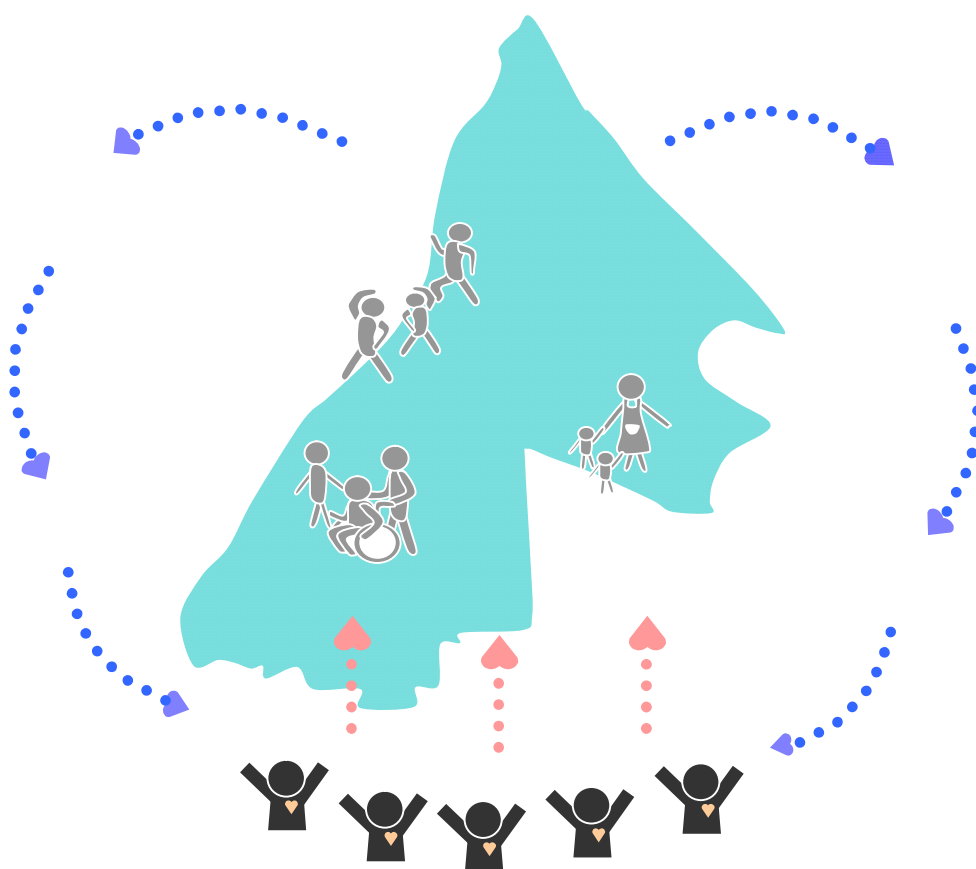


令和7年度 すみだの力応援助成事業
公開プレゼンテーション
プログラム



令和7年6月29日(日)午前9時00分～
墨田区役所12階 121会議室
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

■ スケジュール	2
■ プレゼンテーションの方法（ルール）	2
■ 助成の決定	3
■ 本日の審査員	4
■ 令和7年度「すみだの力応援助成事業」申請団体の事業一覧	4

■ スケジュール

開始時間	団体名	事業名
9:00 ~	開会（挨拶・発表方法の説明）	
9:05 ~	KAB Library and Residency	ウェルビーイング・サウンド・プロジェクト
9:18 ~	My Favorite Things LAB0.	0歳ベビーから100歳シニアまでの キャラクタージャズコンサート事業
9:31 ~	みんな北斎プロジェクト	みんな北斎プロジェクトアトリエ
9:44 ~	まちなか de ガーデナー	すみだコットン計画 （綿の花とコットンボールでつながろう）
9:57 ~	公益社団法人 東京都助産師会 墨田台東地区分会	はじめてパパの子育て支援事業
10:10 ~ 10:20	休憩	
10:20 ~	特定非営利活動法人 日本わくわくキッズ実行委員会	子ども店長集まれ！すみだキッズ春フェス
10:33 ~	特定非営利活動法人あそび研究会	なつのあそび大学
10:46 ~	よりみち自由室	「すみだユースセンター」 スタートアップ・プロジェクト
10:59 ~	特定非営利活動法人声とことばの力	多世代交流で「SUMIDA コミュニティネットワ ーク」を広げよう！ ～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～
11:15 頃	閉会	

なお、各団体による発表の開始時間は、プログラム進行の都合上、前後する場合があります。
予めご了承ください。

■ プレゼンテーションの方法（ルール）

- （１）発表を行う人数は、各団体２名以上とします。
- （２）１団体の発表は６分以内とします。申請事業の内容を中心に発表してください。
- （３）発表終了１分前にベルを１回鳴らします。発表終了時間にはベルを２回鳴らしますので、速やかに発表をまとめてください。
- （４）発表終了後、墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員による質疑を６分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- （５）発表の１団体前になりましたら「発表者待機席」へ移動してください。プレゼンテーション順番時に不在の団体は、審査対象から除外します。
- （６）傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

■ 助成の決定

公開プレゼンテーション終了後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会において、審査会が下表の審査項目に基づき審査を行い、その審査結果をもとに区が助成の可否・助成額を決定します。なお、審査結果については、後日区のホームページ等で公開いたします。

	審 査 項 目	審 査 基 準
1	先駆性・創造性	地域や社会的課題に結びつく問題提起がある、SDGs（＊１）の視点を取り入れられているなど、先取的・独創的な取り組みであるかどうか。
2	発展性・継続性	将来に向けて、事業が持続し、新しい展開につながっていくか、事業の成果が広く地域に普及していくことが見込まれるかどうか。
3	ニーズの適合性	区民の多様なニーズ（需要・要望など）を捉え、それらに的確に対応した内容となっているかどうか。
4	事業の公益性	事業目的が明確であり、広く区民を対象とした事業であるなど、区民福祉の向上に高く貢献する取り組みであるかどうか。
5	実現可能性	事業の実施（責任）体制などの面で自立性を確保しているなど、事業計画・スケジュールに無理がなく、実行可能な取り組みであるかどうか。
6	経費の妥当性	自らの資金確保が明確に考えられているなど、資金計画が妥当であるかどうか。
7	区の期待する項目	区が設定する項目に合致した事業内容であるかどうか。

区では、申請団体の皆さんが事業を企画・実施する際に、特に重視していただきたい項目を設定しています。申請された事業の中で当該項目に合致する事業に関しては、加点を行います。令和７年度は、「他の地域団体との協働により、団体間の連携を強化し、地域の活性化を促進する事業」になります。

（＊１）SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能でよりよい社会の実現」を目指す国際目標です。

■ 本日の審査員

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員

区 分	氏 名	備 考
学識経験者 (3名以内)	永澤 映	NPO法人コミュニティビジネスサポート センター代表理事
	高橋 幸子	西武文理大学看護学部看護学科教授
	鈴木 弘樹	千葉大学工学研究院 准教授 UDC すみだ副センター長
公募を含む 区民 (5名以内)	森下 香洋子	すみだ環境共創区民会議委員
	横井 貴広	墨田区男女共同参画推進委員 墨田区図書館運営協議会委員
	小澤 裕二	墨田区少年団体連合会会長
	吉永 道子	公募委員
	鷲尾 知也	公募委員
事業者 (2名以内)	南雲 裕司	アサヒプロマネジメント株式会社 総務業務部 本社グループ チームリーダー
	久米 信行	久米繊維工業株式会社取締役相談役

(敬称略)

■ 令和7年度「すみだの力応援成事業」申請団体の事業一覧

ステップアップ応援コース

○助成金額：10万円～50万円 ○審査方法：書類審査、公開プレゼンテーション

	【団体名】事業名	申請額
1	【KAB Library and Residency】 ウェルビーイング・サウンド・プロジェクト	500,000 円
	芸術基盤である＜音＞に着目し、サウンドアートの基礎を学ぶ。「振動＝音」に意識を向けて、実際に音を採集し、リミックスすることによって、サウンドスケープ（ここちよい聴覚的風景を形成する）という新たな環境を創出する。デジタル・アナログ双方から日常音を採集し表現していく。 マイケル・シューマッハを招聘し「リビングルーム・ピース」という環境音楽装置を活用した実験的な音楽ワークショップを行う。 ボランティア育成としてワークショップ運営に関わり、広報・集客などの事前準備から実施までサポートを行い、継続的な活動につなげる。	

2	【My Favorite Things LABO.】 0 歳ベビーから 100 歳シニアまでのキャラクタージャズコンサート事業	500,000 円
	夏と冬のコンサートでは、猫の着ぐるみキャラクターと音楽を介して、ストーリー仕立てで進める参加型と、プロアマ混合ジャズビッグバンドの演奏で楽しむ鑑賞型のコンサートを開催。自身の＜好きや得意＞を大切にした「地域の音楽リビングルーム」で、世代問わず各々が自由に楽しめる音楽の環境創りをする。毎月、トロンボーンと歌の体験会を開催し、秋には他楽器との合奏を楽しみ、楽器演奏や歌を身近に感じられる機会を開催。	
3	【みんな北斎プロジェクト】 みんな北斎プロジェクトアトリエ	500,000 円
	障がいのある人を対象にした自由制作の場（アトリエ活動）を提供する。描画の要望が多かったので、主には平面作品の制作を想定して画材類を用意する。テーマは定めずあくまで自由制作の場とするが、絵に精通した講師を立て、画法や画材について詳しくアドバイスできる環境を整えて行う。ほか、スタッフも平面作品・立体作品の制作経験のある者を配置し、利用者の方のニーズに幅広く対応できるようにする。9 月から翌 3 月までの毎月週末に 1 回開催	
4	【まちなか de ガーデナー】 すみだコットン計画（綿の花とコットンボールでつながろう）	173,000 円
	綿の種まきから、苗を育て、花を咲かせ、コットンボールができる様を楽しみ、収穫したコットンボールで糸をつむぎ、クラフトづくりをするまで楽しんでいただく園芸プログラムを実施。参加希望する区民に苗の栽培、コットンの回収、ワークショップ参加までを協力していただく区民参加型で展開。プロの園芸家によるセミナーや伝統的な手法を参考にした糸紡ぎ体験など、綿を題材にして園芸の楽しさを広げ、墨田に花と緑が増えるきっかけを作る。	
5	【公益社団法人 東京都助産師会 墨田台東地区分会】 はじめてパパの子育て支援事業	247,000 円
	はじめてプレパパ・パパになられた方のための「プレパパ・パパの子育て講座」を開催。講座内容：赤ちゃんのお世話についてのお話しや実習・赤ちゃんとのふれあい遊び・交流会・体重計測・個別相談（個別相談では経験豊富な地域の助産師が、それぞれの親子に適した地域情報を含めたアドバイスをご提供。） 父親主体の子育て支援の情報提供を、Web システム(LINE)を使用して毎月 1 回配信。父親向けの子育て支援情報も父親自身が検索できる。	

6	【特定非営利活動法人日本わくわくキッズ実行委員会】 子ども店長集まれ！すみだキッズ春フェス	500,000 円
	子どもが店長として参加し、本物のお金や接客を体験する「すみだキッズ春フェス」は、社会と関わる貴重な機会を創出する体験型イベントです。家庭・地域・出店者が一体となり、子どもたちの主体性や社会性を育むことで、地域ぐるみでの子育て支援を実現します。感謝状や親子写真を活用し、体験の継続的な振り返りと家庭内コミュニケーションの活性化。親子の絆を深め、地域社会とのつながりを強化すること、子育てしやすい街づくりを目指しています。	
7	【特定非営利活動法人あそび研究会】 なつのあそび大学	500,000 円
	千葉大学墨田サテライトキャンパス内で、『なつのあそび大学』を1週間実施する。『なつのあそび大学』では、子どもの手による子どものための「こどもの国」をつくり、子ども自身が国民として、仕事をし、遊び国運営を行う。 また、通常の募集とは別にこどもたちから議員を募りどのような国にするか一緒に考え、運営を行う。 なお、本取り組みでは、墨田区の町工場から使わなくなった素材を集め、その素材を活用して国づくりを行う。	
8	【よりみち自由室】 「すみだユースセンター」スタートアップ・プロジェクト	500,000 円
	自分たちの手で居場所づくりをしたい中高生を集めて、運営委員会を組織する。 基本的に、すべての判断は委員会に委ねる形で、夏休み中に何度かワークショップを行い、夏休み明けの9月から定期的な開催を目指す。 今年度はプレ運営として週2日ぐらいから。平日、中高生の放課後の時間に合わせて実施。運営場所はユートリヤ、予約が少ない部屋を2～3部屋借り、利用用途によって分ける。 想定としては「静かに過ごす部屋」「わいわい楽しむ部屋」「体を動かす部屋」など（これも委員会で決定し、定期的に見直しを行う）。	
9	【特定非営利活動法人声とことばの力】 多世代交流で「SUMIDA コミュニティネットワーク」を広げよう！ ～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～	500,000 円
	墨田区に住むシニアを対象に、こどもの健全育成の担い手となり、多世代交流に参加する「こども未来応援団員」を募集。 地域活動に関心のある大学生、アクティブシニア、子育て中の女性などに、シニアとこどもの橋渡し役となる「未来プレゼンター」として関わってもらい、5回の多世代交流イベントを企画・運営・実施する。 イベントを通して、それぞれの世代が抱える問題を世代間の交流で解決することに努め、繋がり合い、助け合える地域コミュニティの広がりを目指す。	

スタート応援コース

○助成金額：3万円～10万円 ○審査方法：書類審査

	【団体名】事業名	申請額
1	【そらのいろ】 不登校の子どもたちとその保護者への支援事業 多様な個性に対応できていない社会や学校で置き去りにされている不登校の子ども達とその保護者を対象に将来への不安や孤独感を、自分を理解し寄り添おうとする人と、遊びや食を通して楽しい時間を過ごす事によって前を向くきっかけを作ります。イベントは親子で参加してもらい、次のステップとして保護者向けの座談会を、子供向けには職業体験のワークショップを提供します。必要に応じて相談機関へ繋げて、身近な地域に安心できる居場所を作ります。墨田区の不登校支援団体や地域活動団体とこの活動を通してネットワークを作り、支援の輪を広げていきます。	80,000 円
2	【すみだドローンフレンズ】 初心者向けドローン体験イベント(地域交流)事業 8月10日のドローンファイト夏選手権大会の東京スカイツリー会場(明治安田営業所)として初心者子ども向けドローン体験イベントを開催。 午前中には初心者向け体験会と大会予選会を、午後には zoom を介したオンライン全国大会を同時開催。 同所には明治安田の健康測定コーナー(無料)を併設し、学生ボランティアスタッフも運営参加する。 一般参加者にはこのドローン体験を通じて包括的な STEAM 教育に触れる機会を提供し、親子のふれ合いや地域交流を目的とした場として、幅広い年齢層で一緒に楽しめる体験イベントを開催。	88,000 円
3	【すみだウェルネス実行委員会】 ウェルネス啓発イベントで健康づくりの「はじめの一歩」 世界 150 カ国が参加する国際的なウェルネスのイベントを 2025 年 9 月 20 日に墨田区で開催する。ステージや参加型ワークショップを通じて墨田区民が心身の健康を健やかに保つための機会を提供するとともに、墨田区ならではの多様なウェルネス活動を SNS を通じて世界に発信する。	99,000 円

事業内容の概要は、各団体の事業実施計画書の記述のまま掲載しています。

令和7年度
すみだの力応援助成事業
公開プレゼンテーション

発行
墨田区
令和7年6月